

園藝曆 (四月卯月) 大岩金

氣節清明天用穀雨廿一日頃五日頃

觀賞

草花類では前月に引續き秋植の球根類が日増しに美しさを増してきます。その外秋播秋植の草花類も早いものから順次咲きほこつて自ら身も心も畑に引き出されるものであります。

仕事

一、播種

海棠・櫻・椿などは木物の主なもの、野には、スミレ、タ
ンボ、サギゴケ、レンゲなど野趣に富んだものが數々人
まち顔に咲き亂れて居ります。

草花類にありますては前月に引き続き春播及び春植のものを播種するのであります。(便覽参照)

こげつくやうな暑さでないこの日當の下に丹精こめた數々の草花を心ゆくまで眺めてやりたいのです。

即ち櫻草類、シネラリア、三色堇、ヒナキク、金盞花、

その外里芋その他の薯蕷の類もこの切挿植するのであります。

二、移植及び定植

草花類では前月にまだ移植してないものの急を要するものから順次して参ります。そしてあまり伸びすぎて居りまするものなどは一度心をとめて上にばかり伸ばさないで側芽を出させて株を張らせる事も必要であります。移植を終えて定植してよいものは是も夫々の場所に植ゑ出して観賞に供しませう。その他鉢植として地に埋めてあるものやフレーム内に入れてありますものなども適宜取り出して鉢を綺麗に洗つてやらなければなりません。

次にダーリヤにありましてはかねて假植してありますものが芽が出かけて居りませうから を掘り出して一球に芽が一つ以上つくやうに丁寧に芽分して日當のよい場所に植え付けを致します。

植ゑ付けの注意

イ、日照のよい所を選ぶこと

ロ、植穴に基肥を入れ込むこと

ハ、植ゑ込むとき、直ちに球の側に支柱を立てておくこと、後になつては球につき差す心配がある

カンナは假植の必要なく直ぐに芽分して略ダーリヤと同

様の注意で植ゑ付けます。是には支柱も不要でありますから一層簡単なわけであります。又芽數も一株一芽に止めず數個つけて芽分すればよいのであります。

堪冬性の睡蓮も 鉢の水をきつて落葉や蘿などで霜除してありますものを取り除き株の張つて居りますものは掘り上げて芽分けをして新に肥土を入れて植ゑ付けます。かくして清水を入れ水の汚れます中はしばらくとり替へるやうに致します。

三、支柱立その他

スキートビーや豌豆、トマトなど蔓の伸びるにつれて支柱を立てゝやらなければなりません。同時に不要な側芽は絶えずつみとりませんと枝がこみ合つて、結果が悪くなります。

込み合つた芽をつむ事は垣根の蔓ばらにも行はなければなりません。秋末大剪定はしてありますものの、まだ今春になつて意外に込み合つてくるのが常でありますから思ひきり少なくしておきませんと害蟲にも侵される事が多くな

ります。

四、除草、灌水、施肥

是等は常に注意して適宜行ふべきであります。

五、害蟲驅除

草花、蔬菜いづれにもつき易いのは蚜蟲であります。是

には害蟲菊石石鹼合劑又はデリス石鹼液を使用致します。

次に多い毛蟲類にありますては一時も早く見つけ出して
巣の中からはひ出ないうちに焼きつくす事であり、一度散

じては硫酸鉛の撒布をしなければなりません。是が使用に
當りましては晴天無風の時を選び又葉の全面が濕るやうに
噴霧器で撒布しなければなりません。

六、その他

イ、苺の敷薬をすること。

ロ、芝の植付けの好季である事。

ハ、庭木類の移植も好季である事などであります。

